



ひがしまつやま キッズ集合!

おしえて『文化財』

若宮八幡古墳～古墳時代の技術～

若宮八幡古墳(石橋・埼玉県指定史跡)は今からおよそ1,450年前(6世紀後半)につくられた権力者のお墓です。上空から見ると丸い形をした、円墳と呼ばれる形の古墳で、大きさは直径約34メートルあります。

この古墳最大の特徴は、横穴式石室と呼ばれる、遺体を埋葬した石造りの部屋が崩れずに残っている点です。古墳の側面に入口があり、中には前室・玄室とよばれる二つの部屋が連なっています。壁の石をあえて互いにかみ合うように、天井に向かって窄まるドーム状に積み上げることで、天井の石とその上の土の重みを分散させ、部屋が崩れないように計算されています。さらに石室全体を粘土で覆うことで、かぶせた土の水分が入り込んで石室内が劣化するのを防いでいます。古墳時代の高い技術を知ることができる文化財です。



古墳全景と石室入口



石室の内部と石組み

問 埋蔵文化財センター
27-0333 FAX 27-0334

梶田先生と振り返る思い出の一コマ

Vol.40

2015(平成27)年10月、東松山市出身の梶田隆章先生がノーベル物理学賞を受賞しました。受賞理由は、ニュートリノの質量の存在を示すニュートリノ振動の発見をした功績からでした。受賞記念講演で「この発見は、標準理論を超えた新しい物理学を開くものです。研究が進めば、宇宙に存在する物質の起源など、自然の根本の理解につながるでしょう」と語られているように、まさに自然科学分野における革命的な研究成果でした。

また、市では「未来を担う子どもたちに、もっと科学に興味を持ってもらいたい」という想いをカタチにするため、梶田先生からの寄附金を原資として「ノーベル物理学賞受賞梶田隆章基金」を創設し、世界に羽ばたく人材の育成に力を入れています。

毎年、市内中学2年生を対象に、科学への興味・関心が高まるように「夢 with Science」という講演会を行っているんだよ。



2016(平成28)年に「漫画でわかる梶田隆章先生とニュートリノ」を発刊したんだよ。



東松山市出身の梶田隆章先生 ノーベル物理学賞を受賞 2015(平成27)年



キャラクター紹介

市内の小・中学生に配布された学習漫画『漫画でわかる 梶田隆章先生とニュートリノ』のキャラクターたちです。

ニュートリノ三兄弟



エチャちゃん ミューちゃん タウっち

梨花(姉)



歩(弟)



梶田隆章先生



東松山市生まれ。東京大学宇宙線研究所教授。1998年にニュートリノ振動の発見を発表。2015年にノーベル物理学賞を受賞。

